

1 趣 旨

高知県を発祥とする「よさこい」は現在全国に活動が広がり、北海道から沖縄まで数千を超え活動しているチームがあります。2000 年後半から浜松地域でも広がり「浜松がんこ祭り」を設立、毎年 3 月に開かれ参加人数 6000 人以上、観客約 20 万人を超すイベントとなりました。この浜松のよさこいの特徴は「地域の曲を取り入れること」です。浜松であれば「やらまいか」や「浜松まつりの激練り（ラッパ）」を各チーム取り入れていることが多いです。また、もう一つ全国的に「よさこい」の大きな特徴は上記の文化的な側面も持ちながら「インクルーシブ」なスポーツとも言えることです。

インクルーシブなスポーツ：子供から高齢者、障害者、健常者に関係なく全ての方々が一つになって楽しめる活動です。

2025 年には、社会の 34%が高齢者、10%が障害者、L G B Tや外国籍も含めると約半数が何かしらハンディを抱えた状態で社会が構成されます。

そのような未来に向かっていく中において「よさこい」がもつポテンシャルは、文化×スポーツの視点で社会が一つになる要素を多く持ち、社会的活動意義が大いにありと考えています。

しかしながら、「浜松がんこ祭り」において 20 万人（150 チーム）が集まる主催地域のイベントにも拘わらず、地元チーム（静岡県西部地域）は 10 チームに足らずの状況です。その為、市民全体への認知が低く、活動が広がっていない状況です。これらには、様々な要因がありますが大きく以下 4 つの要因と考えています。

- 1 各団体が自チームのみの活動となりチーム同士の横の連携がないこと
- 2 年間を通して活動して行けるイベントが少ないこと
- 3 始めたいけど始め方がわからない（相談窓口がない）こと
- 4 技術向上をサポートする環境が無いこと

*義務教育で必須である「ダンス」でも「よさこい」を教えられる先生がいない

上記の環境を改善すべく、まず静岡県西部で活動しているチームが一つの団体として活動し、イベントの集約や主催イベントを実施します。その他にも、「よさこい」をやってみたい方の相談窓口の設立（チーム設立のアドバイス）や、技術向上のサポート、よさこい指導者の派遣の事業を行っていくことで、「インクルーシブ」な社会に対応し、誰もが環境に関係なく文化・スポーツとして「よさこい」を楽しめる社会に寄与していくと考えます。

このような活動を行っていくにあたり、公正かつ透明性を担保した活動を行い、社会的な信用を得た上で幅広く活動していくためには、法人化は急務であると考えます。ただし、営

利を目的とした活動ではないため、会社法人ではなく非営利活動法人の設立が望ましいと考えます。

2 申請に至るまでの経過

静岡県西部地域を中心とした「よさこい」の普及（よさこいの楽しさを伝える）取り組みの発起人である花山を中心に 2013 年から任意団体として活動してきました。その中で、依頼を受けたイベントの管理、自主イベントの主催、講習会の実施など全てボランティアで約 10 年行ってきました。今後さらに、チームの育成や、出前授業の活動を広げて行くにあたり、個人での任意団体としての活動には限界があり、NPO 法人化に向け賛同していただける 12 チームと協議を重ね、2025 年 2 月 2 日に NPO 法人化に向けた説明会を開き、2025 年 3 月 30 日設立総会を開き今日の設立に至りました。

2025 年 4 月 30 日

NPO 法人よさこい遠州連合会

設立代表者 花山亮子